

令和4年度使用 中学校（特別支援学校の中学部含む）用教科用図書の調査研究資料

調査項目	着眼点	調査の方法
1 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むこと	(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる、学年内及び学年間の系統性・発展性	<ul style="list-style-type: none"> どのような学習内容や学習活動が取り上げられ、程度や分量はどのようなものであるか。 上記の学習内容や学習活動に取り組む上で、どのような構成・配列上の特徴があるか。
	(2) 思考力、判断力、表現力等を育む、言語活動や問題解決的な学習、体験的な学習	<ul style="list-style-type: none"> どのような学習内容や学習活動が取り上げられ、程度や分量はどのようなものであるか。 上記の学習内容や学習活動に取り組む上で、どのような構成・配列上の特徴があるか。
2 主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促すとともに、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること	(1) 学習意欲を喚起したり、学習の意義を社会や生活との関わりの中で実感したりすることができる題材や素材、資料等	<ul style="list-style-type: none"> どのような題材や素材、資料等が取り上げられ、程度や分量はどのようなものであるか。
	(2) 家庭で、課題の解決に向けて、自分で考え、自分で学習を進めることができる内容や構成	<ul style="list-style-type: none"> どのような学習の進め方や学び方が取り上げられ、程度や分量はどのようなものであるか。 家庭において自ら学習に取り組む上で、理解度を高めるためのどのような工夫があるか。
3 学習指導要領に示された各教科の配慮事項にかかわること	<p>(例) ・国語「他教科等における読書の指導や学校図書館における指導との関連」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社会「学校図書館や地域の公共施設、コンピュータや情報通信ネットワークなどの活用」 ・数学「そろばんや電卓、コンピュータ、情報通信ネットワークなどの活用」 ・理科「観察、実験、野外観察における事故防止にかかわる指導」 ・音楽「学校内の学校行事等における活動や公共施設などの学校外における音楽活動との関連」 ・美術「美術館や博物館等と連携、写真・ビデオ・コンピュータ等の映像メディアの活用」 ・保健体育「特別活動や各教科等との関連、家庭や地域社会との連携」 ・技術・家庭「伝統的な技術の継承、技術革新に携わる方や、保育士、栄養士などの職業に携わる人材の活用」 ・英語「視聴覚教材やコンピュータ、情報通信ネットワーク、教育機器などの活用」 ・道徳「地域の先人、地域に根付く伝統と文化等、教材の開発と地域人材の活用」 	
4 印刷・製本等にかかわること	(1) 教科書の重量やページ数	<ul style="list-style-type: none"> 教科書の総ページ数、重量はどのようなものであるか。
	(2) 文字の大きさ、字間、書体、行間、図版等	<ul style="list-style-type: none"> 障がいその他の特性の有無にかかわらず生徒に読みやすいものになっているか。 印刷の状況（鮮明度、美しさ）はどうか。
	(3) 上記以外の使用上の便宜	<ul style="list-style-type: none"> 目次、索引、注、凡例、巻末資料等は、どのような特徴があるか。

調査項目・着眼点の根拠
<p>■ 中学校学習指導要領（平成29年告示）</p> <p>第1章 総則 第1 2</p> <p>(1) 基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、これらを活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を育むとともに、主体的に学習に取り組む態度を養い、個性を生かし多様な人々との協働を促す教育の充実に努めること。その際、生徒の発達の段階を考慮して、生徒の言語活動など、学習の基盤をつくる活動を充実するとともに、家庭との連携を図りながら、生徒の学習習慣が確立するよう配慮すること。</p>
<p>■ 岐阜県教育振興基本計画（2019年3月）</p> <p>基本方針3</p> <p>目標11「これからの時代に求められる資質・能力」の育成</p>